

球形ロボがパトロール

中国 治安維持で導入

【北京時事】中国警察が市街地でのパトロールに球形ロボットを導入し、話題となっている。中国では景気低迷や社会の閉塞感を背景に、公共の場での凶悪事件が相次ぐ。先端技術を搭載したロボットを目に見える形で配備することで、犯罪の抑止効果も狙っているようだ。

中国メディアは昨年12月、浙江省温州市の警察隊が、転がりながら前進する球形ロボットと共に繁華



浙江温州

球形“机器警察”亮相闹市



浙江温州

球形“机器警察”亮相闹市

中国の警察がパトロールに導入した球形ロボットは2024年12月(中国国営中央テレビより・時事)

球形ロボットと共にパトロールする中国の警察は2024年12月(中国国営中央テレビより・時事)

街を歩く様子を報じた。ロボットは太いタイヤのようにも見え、直径80センチ。リモコンで動作し、2.5秒で時速35キロまで加速する。網を飛ばして不審者を捕らえる防犯器具「ネットランチャー」を備え、催涙ガスを出すこともできる。

公開された映像は、ロボットが人に体当たりして制圧する実演のほか、凹凸のある地形や水中を進む様子を伝えた。もともと研究機関が水星探査を念頭

に設計し、連続10時間の作業や1200メートルの長距離移動に耐えるという。

一方、四川省成都市の警察当局は、パトロールに「ロボット警察犬」を採用。最速毎秒4センチで移動し、跳躍や障害物の自動回避、撮影画像のリアルタイム分析が可能だ。

中国は軍事・治安維持分野でロボットや人工知能(AI)の活用を進めており、特に機動性に優れた四足歩行型のロボット開発に注力している。国営中央テレビは昨年5月、カンボジアとの合同軍事演習に際して、ライフルを装備したロボット犬を導入したと報じた。



柬埔寨

中方参演队员 陈威

和发现敌人后火力打击

星期日 10:55

边界黎方一侧多个城镇发动袭击。

CCTV 新闻 也门胡塞武装2

中国とカンボジアの合同軍事演習に登場したロボット犬は2024年5月(中国国営中央テレビより・時事)